

進路だより *Success is A Team Sport*

(第2号)

3年生になって2ヶ月が過ぎて...

自学自習の精神は身につきましたか？

新型コロナウイルスの影響で世の中のシステムが大きく変わろうとしています。人生とは予期しないことが起こるものだ実感しないではいられません。そうであるならば、自分の頭で考え、行動することこそ、これからの人生に必要なことです。人からあれこれ指示されなくても、自分で課題を見つけ、1つずつ克服していくのです。受験勉強を通じて、これからの社会を生き抜く力を身につけましょう。頼りにするのは「自分」です。勉強して自分の能力を高め、「頼れる自分」を作っていきましょう。

受験は補欠なき団体戦であることに気づきましたか？

とは言え、一人で頑張るのはとても辛いことです。嬉しいことに、やっと学校が再開しました。ヒトのやる気は環境によって大きく左右されます。したがって、学習していく上でクラスの雰囲気はとても大切になります。学ぶ雰囲気作りが、結果に結びつきます。授業中に居眠りや内職をしたり、遅刻して教室に入ってくるのもクラスの雰囲気を壊します。大学入試は競争入試ですが、クラスメイトはライバルではありません。ライバルは全国の高校生です。ぜひとも早い段階で、良い雰囲気のクラスを作ってください。補欠はいません。全員がレギュラー（正選手）です。

目標を定めましたか？

志望校を決めることが、受験勉強の第一歩です。受験勉強は「短期決戦」の定期考査とちがって、長期間にわたる持久戦です。ここで欠かせないのは、努力を持続させるための強力なモチベーション（動機）です。受験勉強は、学校の成績や模試の偏差値を上げるためにやるものではありません。それは、最初から最後まで「行きたい大学に受かる」ためにする勉強です。「受かりたい！」という強烈なモチベーションをエネルギー源にして進めるのが、受験勉強です。

情報を収集することを怠ってはいませんか？

受験勉強は「情報戦」です。問題集を選ぶにも勉強法を選択するにも、良質の情報にめぐり会えるかどうかで、結果に大きな差が出ます。志望校を選ぶ段階でも同じです。たいして情報を集めずに志望校を選んでしまうと、後悔することになります。

志望校選びで最も大切なことは、「自分がとことんホレ込める大学を見つけ出す」ことです。「何となくこの大学に行きたい」ではなく、「絶対にこの大学に行くぞ！」という熱い思いを抱いていれば、つらい受験も耐えられます。

まずは行きたいと思う大学の情報をしっかりと集めましょう。同じ学科でも大学によって学ぶ内容が大きく異なることがあります。オープンキャンパスが中止になっている昨今、頼りになるのは大学のホームページです。今年は入試制度が大きく変わります。行きたい大学を5～7校選び、定期的にHPでチェックしましょう。情報不足による失敗は愚かなことです。調べるという行動を起こすこと自体、受験勉強に踏み出す第一歩です。

進路指導室の資料紹介

①大学案内

各大学の案内（パンフレット）が分類されています。昨年度よりも大学の数が増え、充実しました。

②受験雑誌・情報誌

センター試験データ集、大学入試動向など多数。就職状況など大学進学先の資料もあります。

③過去入試問題集（赤本など）

第一志望の赤本は自分で購入すべきですが、併願校の場合は是非利用してください。現時点では過去3年分（2018年度版～2020年度版）があります。借りたい人は先生に声をかけて、貸出簿に記入してください。一度に3冊まで、期間は3日間です。借りたらすぐに自宅やコンビニでコピーを取ってください。来年度版（2021年度版）は秋頃に入荷します。秋になると、貸出件数が急増する（去年は1日で300冊を超える日がありました）ので、今のうちに借りて、コピーをしておくとういでしょう。本棚にない大学も注文して取り寄せることができます。

◆「進路指導室」利用上の注意

- 入室・退出の際には、明るく知性あふれるあいさつを。
- 進路指導室は資料を閲覧したり、調べたりする所なので、ここで勉強することはできません。
- 資料や書籍は無断で持ち出さないでください。
- もちろん進路相談も受け付けています。隣の指導室にいる先生に気軽に声をかけてください。

④パソコン

5台あります。インターネットで大学などの情報も自由に検索できます。プリンターも設置しました。10月以降は「コンパス」や「バンザイ」をインストールしますので、合格判定を調べることができます。

⑤その他、短大や専門学校（特に看護医療系）の案内も多数あります。

⑥先輩（56～61期生）の受験レポート（超おすすめ!）

先輩の受験報告書で、推薦・AO、一般受験別、さらに入学した大学別に整理してあります。受験勉強生活1年間の学習状況はもちろん、心理状態も詳しく書かれています。オススメの参考書や問題集、後輩へのメッセージもあります。今年の卒業生もこのレポートを見るために、連日多数、進路指導室を訪れていました。併願先の大学も詳細に載っているので、11月に受験校を選ぶ際にも大変役に立ちます。

模試を活用しよう!

6月は模試が多く控えています。すでに河合塾の共通テスト模試は手元にありますが、6月13日（土）にはベネッセの共通テスト模試を学校で実施します。先日配布した『進路のしおり』には模試について卒業生のアドバイスが載っています（75ページ）。さらに、ここでは模試の効果的な活用法を考えてみましょう。

1 模試を受ける目的と心構えを持つこと

- ・勉強の成果と弱点を確認して、その後の勉強につなげる。

2 本番試験の気持ちで受けること

- ・試験の雰囲気（特に校外模試ではアウェイの雰囲気）に慣れ、本番で最大限の力を発揮できるようにする。
- ・共通テスト模試の場合は特に時間配分に注意する。

3 合格判定を賢く利用する

- ・現在の学力と志望大学との距離を知り、自分の成績を客観的に判断する。
- ・偏差値よりも素点を気にする。志望校まであと何点とれば...と考える。

4 模試当日の夜は自己採点を行うこと

- ・共通テストの自己採点の練習をする。
- ・ケアレスミスやできなかった問題はすぐにやり直して、同じ間違いは繰り返さない。

5 問題・学習の手引き・成績表は保管すること

- ・模試の問題は良質の問題集であり、学習の手引きは受験に必要な重要事項を詳しく解説してある立派な参考書となる。
- ・成績表は自分の弱点傾向が一目で分かり、勉強すべき範囲も知ることができる。

6 模試の意味は失点箇所の復習にある

- ・模試は3回見直す（当日の夜→答案返却時→2か月後）。
- ・模試は何よりも復習が肝心。間違えたところを復習することで苦手分野を克服できる。



模試当日は長丁場で体力が消耗します。前日は早く寝て、万全の体調で受験しましょう。